

川から生まれたまちづくり

 宇刈川の源流をご存じですか? (袋井市)



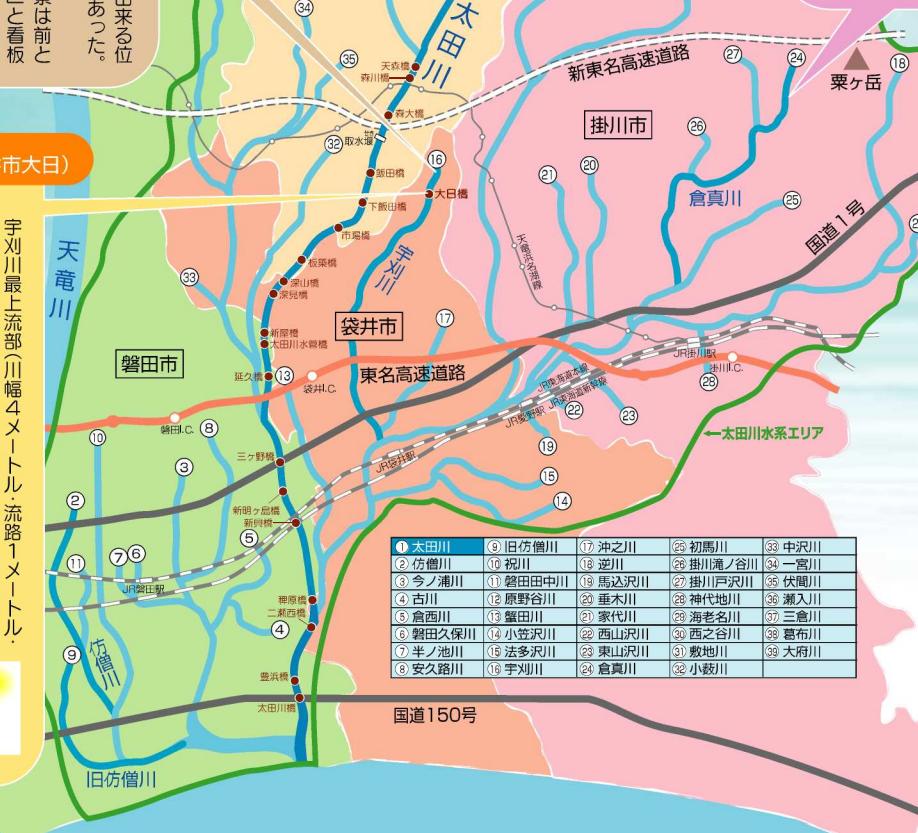
変わらない見えたが起点標識の奥は「山中下池公園」と看板が立ち、きれいに整備されていた。その奥には小さな滝があった。滝の源が裏手にある葛城北の丸の庭園つり橋から見られるらしい。川の始まりに静けさを感じた。



大日螢の里 (袋井市大日)

宇刈川最上流部(川幅4メートル・流路1メートル・水深20センチ)、1.5キロメートルに自然発生の巣が見られる。大日自治会内の白兎会という大日の未来を考える会の提唱で、20年前地域の親睦を深めるため、巣観賞会を開いた。今では自治会・子供会・女性部・等の各種団体が協力して、焼きそば・菓子のつかみ取り等のイベントもしている。地区内では、環境に关心が高まり、川の草刈りを年2回している。地区外からも巣観賞に来る人たちが年々増えている。(袋井市 北島 金三)

蛍観賞会(大日橋付近)
5月20日~6月10日
18時~21時 車規制あり



を住民合意のもと独自に計画し、行政と協働で県道整備を進めており、「いきいき倉敷マップ」の中に緑の点線で囲つてあるのが、部会が取り組んでいる活動であります。

倉真が、がんばっている、と聞き訪ねてみました。市北山の中山間地で、静かな倉真温泉があり、お茶・米づくりが中心の農村地域に1,800人ほどが暮らしています。昔から水に恵まれない土地柄で、地区の中央を流れる倉真川は大切な農業用水源であり、子供達の楽しい遊び場でした。

近代の生活の向上と共に世の変化の中で、中山間地域の倉真にも変化が現われました。子供達の減少、水質悪化、ホタル・魚などの生き物減少、街中倉真川の堰設置による悪臭と遊び場の消滅など、03年頃、倉真の人々は考えました。「将来の子供達何向にあるべきか」についてみんなのまちに話し合いました。先ず始めに取り組んだのが、地区全域を設置することによる水質浄化であり、そしての1ヶ所を計画変更し悪臭の解消と遊び場の川の景観づくりがありました。その結果倉

